

「千早赤阪村立小学校のあり方について」アンケート調査(集計表)

		げんき 保育園	こごせ 幼稚園	赤阪 小学校	千早小吹台 小学校	計	
1	小学校の2校体制を維持していくべきである。	2	1	4	14	21	15.4%
2	いずれ統合となるかもしれないが急ぐ必要はない	7	4	25	20	56	41.2%
3	早く統合に向けて協議を進めるべきである。	4	3	22	16	45	33.1%
4	その他	1	0	5	3	9	6.6%
	白紙	0	0	2	3	5	3.7%
	計	14	8	58	56	136	
	配付数	26	9	76	75	186	
	回収率	53.8%	88.9%	76.3%	74.7%	73.1%	

① 2校維持

<教育面>

- ・少人数での教育だからこそ、行き届いた教育が受けられる。
- ・大勢の人数が必要な行事（運動会、宿泊訓練など）は両校合同であれば良い。

- ・統合して10年以上同じメンバーで過ごすのは問題がある。

- ・異なる特徴をもつ2校の交流を行うことができるのが良い。

<環境面>

- ・学校が無くなる地域は、送迎が大変になる。

- ・小学校へは歩いて通わせたい。

<条件>

- ・統合をしなくても済むように子どもを増やす方策を考えるべき。
- ・学校が無くなる地域は衰退すると思う。

② いずれ統合

<教育面>

- ・今の教育体制に不満はないので急ぐ必要はない。
- ・少人数だからこそできるきめ細やかな教育を大事にしてほしい。
- ・クラス替えがないまま、同じメンバーで過ごす逃げ場がなくなる。

- ・2校間の交流の場をもっと設けるべき。

<環境面>

- ・親にとっても子にとっても環境が変わるのが心配。
- ・今、子どもは楽しく学校生活をしているので、急ぐ必要はない。

- ・通学手段や制服の問題など統合した時の問題点をじっくり話し合っておく必要がある。

- ・通学や親の負担軽減を考えてから統合すべき。

<条件>

- ・もう少し状況を見てから考えるべき。
- ・まだ、あわてて統合するような人数ではない。
- ・学年の数が1ケタになる頃に統合すべき。
- ・小学校をどちらかに残す方が人口減少を防ぐ手立てになるのか時間をかけて考えるべき。
- ・人口を増やす努力をしてから統合すべき。

<教育面>

- ・子供の友達関係を考えると、ある程度1クラスの人数がいることが望ましい。

- ・今の少人数での授業に満足しているが、これ以上人数が減るのであれば統合もやむを得ない。

<環境面>

- ・学校が統合されても児童は両校に欲しい。

- ・保護者のPTA役員、クラス役員も、人数が少ないと負担になる。

<条件>

- ・使用しなくなった方の小学校を中学校の校舎にしてほしい。
- ・平成33年度の年から児童数が減少するように思うのでいずれ統合した方がよいと思う。
- ・児童数が1ケタになる学年がある為いずれ統合した方が子供たちにとって良いのでは。

③ 統合

<教育面>

- ・あまりに学年の人数が減ると集団での学びに不安がある。限られた人間関係は子どもにもしんどい。

- ・中学生になれば同級生になるのであり、多人数に慣れておくべき。

- ・1学年10人を切ると体育や音楽の授業が成立しない。

<環境面>

- ・一つの学校にして、クラス替えや設備にお金をかけるべき。

- ・子どもが少ないとクラス委員など親の負担も大きい。

<条件>

- ・統合して10人以上のクラスにすべき。
- ・中学校で1つになるのだから、小学校を2つに分けておく意味はない。
- ・複式学級になるくらいなら統合すべき。
- ・子どもの数が減っているのに2校に分ける必要はない。
- ・廃校の活用をすべき。

④ その他

- ・統合した時のメリット、デメリットを教えてもらわないとわからない。
- ・小中一貫校にすべきでは。
- ・統合の前にもっと若者を増やす努力を。
- ・2校体制の維持ができるなら良いが、現実には難しいと思う。